

教科別採択教科書報告書

教科名 数学	分野等
出版社 新興出版社啓林館	書名 未来へひろがる数学
<p>1. 新しい学習指導要領への対応について</p> <p>(1) 「説明しよう」「まとめよう」では、他人の考えを知ったり、自分の考えとの違いを確認・比較したりできる問題を設定し、主体的・対話的で深い学びの充実が図れるように工夫されている。</p> <p>(2) 各章の導入や「数学ライブラリー」では日常生活、地理や歴史に関する事柄、実験等の幅広い分野からの課題が取り上げられていて、教科等横断的な視点の学習が適切に位置づけられている。</p> <p>(3) 「ひろげよう」では質問形式が多く、各節で確認した数学的な見方や考え方を働かせて、事象を発展的に考察できるように工夫がなされており、新学習指導要領における数学科の目標に適合している。</p>	
<p>2. 内容について</p> <p>(1) 生徒の興味・関心を湧かせる題材を充実させ、自分から問題を生み出す力を身につけさせようとする記述が多くに見られるため、県の教育施策に適合している。</p> <p>(2) 「ひろげよう」「学びをいかそう」など発展をねらって問題が配置されており、発展を自然に促す配列となっている。</p> <p>(3) 「数学ライブラリー」などで、地域の建造物や伝統工芸品に関する題材が1年生に多く記載され、数学と他教科の繋がりを感じさせる工夫が感じられる。</p> <p>(4) 基礎的・基本的事項だけでなく、疑問を解決したり、ひろげたり、深めたりする力を単元の最後にわかりやすくまとめている。発展的・探究的な問題についても適切に配置されている。</p>	
<p>3. 造本等について</p> <p>(1) 色覚特性への配慮等、ユニバーサルデザインへの工夫がある。自分で学習が進められるようQRコードが随所にある。</p> <p>(2) 自学自習を想定した、「学びのあしあと」が巻末に逆向き・90°回転した形で掲載されており、算数との接続や学びの振り返り、発展的・探究的な問題を配置している。</p>	